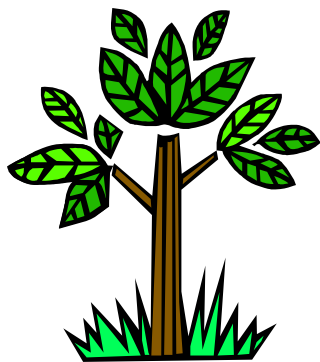


褥瘡ケアへのかかわり



フォーレスト訪問看護ステーション
看護部

はじめまして

当ステーションは・・・

看護師 4名 理学療法士 8名 作業療法 5名

言語療法士 1名

ケアマネイジャー 4名

福祉用具 2名

事務員 1名

で構成されています。

事例 1

- F氏 男性 71歳
- 脳梗塞後遺症
- 車椅子乗車可能 日常生活全介助レベル
- 排泄 失禁
- 食事 ペースト状
- 関節の拘縮あり

臀部のただれのため訪問看護を依頼

経過 訪問開始、悩んで...悪化



現時点での問題点

- 皮膚の汚染と湿潤
- 皮膚の摩擦
- 車椅子乗車時の姿勢のずれ
- 栄養状態の評価

【処置】

イソジンゲル + ガーゼ

経過 良くなってきた



- 訪問リハビリ開始
- デイサービスでも処置の統一
- 医師と相談
- 介護負担の軽減
ヘルパーさんの力も借りて

現在は・・・

- 予防に努めて

事例 2

- H氏 男性 41歳
- インフルエンザ予防接種後 脊髄性麻痺
- 電動車椅子乗車可能
- 右上肢と両下肢麻痺があり
- 側湾
- 精神的に不安定 夜間不眠

仙骨部と右側腹部に褥瘡ができ訪問看護を
依頼する

經過 訪問開始



■ 仙骨部 5 cm大



右側腹部 4× 2cm

経過 悩んで 約2ヶ月後



医師と連絡取り合いながら、処置法検討・・・

経過 さらに悩んで..入院



- 外来で治療もなかなか改善せず、カット後すぐ壊死状態になる
- 入院し、電気メスで処置する

【処置】

洗浄 + アルゴダーム +
ガーゼ

経過 いん兆し



ところで . . . 褥瘡の好発部位は

- 後頭部
- 肩甲骨部
- 肘
- 仙骨部
- 腸骨部
- 坐骨結節部
- 大転子部
- 頸骨前部
- 踵部
- 外顆部

体重のかかる骨突出部全部です



事例 3

- W氏 女性 85歳
 - 肺癌末期
訪問当初は摂食不良で点滴施行
 - 転倒後、寝たきり状態。自力体交困難
 - 寝たきりとなった直後、両腸骨に褥瘡発生
 - 排泄 フォールレ留置中、オムツ
- 点滴管理、褥瘡処置の為訪問看護依頼

数日で褥瘡発生

- 左腸骨5cm × 6cm
- 創表面に黄色の壊死組織

【処置】

イソジンゲル+ガーゼ



食欲あり、褥瘡改善傾向

- 1ヶ月半後
- 医師、家族と連携
- 左腸骨
2.5cm × 3.5cm
- 周囲から良性の
肉芽形成
中心部黄色壊死組織
現在処置継続中



褥瘡の要因

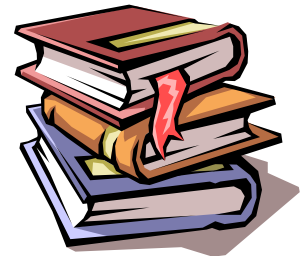


- 外的要因

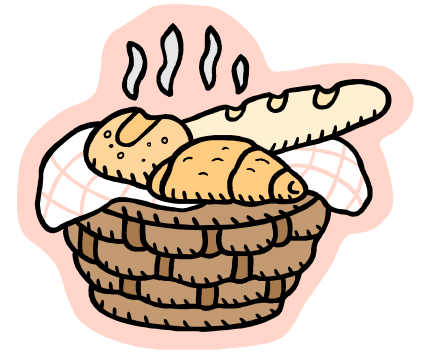
圧迫、摩擦、ずれ、湿潤（失禁や発汗）

- 内的要因

背景となる原疾患、栄養状態不良



褥瘡と栄養



- たんぱく質・大豆、いわし、うなぎ、肉
- 亜鉛……………玄米、ごま、きのこ、ほうれん草
- アルギニン・肉類、ナッツ、大豆、玄米、牛乳
- 鉄……………きくらげ、ココア、レバー、きなこ
- 銅……………牡蠣、納豆、えび、いか、レバー
- カルシウム・乳製品、小魚、海藻、葉っぱ類

褥瘡予防には栄養管理も重要なポイントです

ご静聴ありがとうございました



私たちに何かできることがあれば
いつでもご相談下さい